



7月の行事計画表

会務報告

- ・最近、暑い日が続くとと思ったら翌日にはガクンと気温が下がるなど、天候の急変が多いこの頃です。高齢者は体温の調整が難しいので、普段から脱ぎ着のしやすい服装を心がけましょう。
- ・小生は、もの好きで、各種スポーツクラブや、研究クラブに所属していますが、その役員や担当者から、「●●さんが入院したよ」というライン連絡がよく来ます。その度に「心配ですね。早く治ってほしいね」と返事をしています。
- ・コロナ渦が収まりつつありますが、4年間、例会をずっと休んだ会員の中に、引きこもり生活が長かったせいか、まだ抜け切れていない方が半数もいます。4年の内に生活環境もずいぶん変わった様子。総会で久しぶりに会った方々に挨拶の傍ら近況を訪ね回ったら、車を廃車したとか、歩行が困難になったとかでクラブ例会に通えなくなったという事情が分かりました。幸いその方々は、引き続き老人クラブの会員にとどまっています。
- ・総会で喜ばしいことがありました。「ほほえみの郷」に入居後ずっと例会に通えなかった会員たちに、施設職員や、居住区のろうあ者相談員などが付き添って送迎していただいたことです。普段は、外出中に交通事故にでも遭ったら、施設の責任になるので、一人で外出が難しい方には、遠慮していただいているそうです。

7月 4日	10:00～ 清掃活動 11:00～ 西区手話の会と交流会 ・新しい友だちと 交流しましょう。	身障福祉 センター 24軒です 身障福祉セン ター大会議室
7月 11日	10:00～ ラジオ体操と会務報告 室内ゲーム 麻雀、トランプ、将棋	情報センター 大会議室
7月 18日	10:00～ ラジオ体操と会務報告 水道見学会の映写と 感想談。	情報センター 研修室
7月 25日	10:00～ ラジオ体操と会務報告 11:00～ 「老人寺子屋」 題名「穴埋めクイズ」	情報センター 大会議室 とも支援

ち
しき
いづみ
知識の泉ごうりてきはいりょ
「合理的配慮」ってなあに

「合理的配慮」とは、障害者が社会の中で出会う困りごとや障壁を取り除くための調整や変更を指します。2024年4月1日から、「障害者差別解消法」により、事業者などに障害者への合理的配慮が義務付けられました。障害者が、障害のない人と同じように、社会生活において平等に参加できるようにすることが、目的です。例えば、車椅子の人のためにスロープをかけたり、聴覚障害者に対して筆談や手話による情報保障を行ったりすることが挙げられます。これからは、これらの配慮を権利として要求することができます。(T/T記)

ご寄付ありがとうございました。

突撃インタビュー

しみず ゆうこ
清水 優子さん(70歳)

品名	寄付者名	金額
・青い鳥ハガキ(20枚)	菊地 克哉様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	佐藤百合子様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	長谷川マリ様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	畠山 啓子様	1,160円
・青い鳥ハガキ(40枚)	佐藤 順子様	2,320円
・青い鳥ハガキ(40枚)	土井 夫婦様	2,320円
・雑巾(8枚)	那須美枝子様	
・バインダー(1冊)	畠山 啓子様	
・雑巾(2枚)	長谷川マリ様	
・寄付金	相沢 寿詞様	5,000円
・青い鳥ハガキ(20枚)	渋谷 雄幸様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	下田千恵子様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	中村 良仁様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	越智 晴信様	1,160円
・消印なしハガキ(13枚)	クラブ会員より	754円
・紙代売上	協会高齢部様	150円
・お菓子(一箱)	梅津嘉世子様	
・寄付金	匿名様	676円
・青い鳥ハガキ(40枚)	沼澤 一夫様	2,320円
・青い鳥ハガキ(20枚)	宮内 昭治様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	松阪 麗子様	1,160円
・飴玉(2袋)	那須美枝子様	
・雑巾(8枚)	瀬川百合子様	
・切手売り(18枚)	北区支部様	1,350円

未記名の方は次号へ 合計 26,490円

会員・準会員募集中(あなたもぜひ)

新年度(4月1日から)の会費は年1,500円です。私たちと一緒に楽しく交流しませんか。会場は情報センターで毎週(木)10時から12時までです。

2024年度「会費」納入者数(5月31日現在)

会費納入者 45人

退会者 4名 会員数 57名

新入会者 3名 会員、準会員の区別なし

- 貴女はどこで生まれ、どこで育ちましたか？
- 深川市で生まれて、5歳から高校卒業まで滝川市で育ちました。
- 滝川市は私の生まれた故郷の隣町です。さて、ろうあ者老人クラブに入ったキッカケと手話を覚えたキッカケは？
- 老人クラブには白石区支部(当時)の方に誘われて見学したことがキッカケで入会しました。手話を始めたキッカケは思い出せません。
- 老人クラブの人たちはみな違う手話をしていますが、読み取りに苦労しますか？
- はい、苦労していま～す。
- それらの表現を見てどう思いますか？
- 尊敬と羨望しかありません。
- 他に手話サークルと掛け持ちしていますか？
- 白石手輪の会の会員ですが、なかなか通えていません。
- 貴女は、老人クラブで聞こえる人の中では、長い人と思いますが、何年目になりますか？
- 何年かは覚えていませんが、故長谷川金吾さんが会長になられた年からです。
- 今までの活動で思い出を聞かせてください。
- 年に1度のJRバスでの1泊旅行が一番の思い出です。JRバス担当者と「どこへ行くか」と一緒に色々な企画を考えるお手伝いをしたことが大切な良い経験でした。
- 老人クラブの会員たちが高齢化し、施設に入ってクラブに通えなくなる。また、お亡くなりになって会員が減っています。このことをどう思いますか？
- お会いできなくなることはさみしいです。高齢化の問題は老人クラブだけで考えることは難しいですね。
- 聞こえる立場として「老人クラブ」をどのように盛り上げたら良いか、ご意見があればひと言お願いします。
- 若い会員が増えるといいなあと思います。(笑)皆さんのやりたいことお手伝いできればと思います。とても微力ですが、ごめんなさい。
- いや、どうもありがとうございました。

(N記)

円山 動物園 見学会

札幌市社会生活教室

老人寺子屋→ (とも支援)

漢字の「言べん」のあつめ…4/25

去る5月2日(木)、動物園見学会を実施しました。当初は花見会の予定でしたが、福祉バスの故障で現地へ行く足がなくなり、代替え案として円山動物園行きのバスに乗ることにしました。

参加人数と待ち合わせ場所を2カ所に分けて(情報センター前と円山公園バスタミナール)集合し、10時7分のバスに乗りました。バス停は正門ではなく、西門でしたので円山動物園に入り、正門に着いた人たちと合流することができました。

グループを2つに分けて、親子ゾウさん、サル山、モンキーハウス、ホッキョクグマなど見ながら歩きました。ペンギンたちが狭い場所でじっと立っていました。

「とも」ボランティアの吉中さんはアフリカへ行ったことがあるので「何なりと質問はOK」とのことでみんながじゃんじゃん質問していました。記念撮影を済ませた昼頃、円山公園に向かう途中で解散しました。「K記」



前号で記字にするところでしたが、載せるスペースが無かった為、月遅れの報告になり申し訳ありません。

「とも」から代表、伊勢谷さんと中村(春)さん、住友さんの3人がにこやかに登場。

「言べん」の漢字を知っている人から順次に手を挙げて、ホワイトボードに自ら書き出しました。

前回「宿題」として出されたので、事前に下調べをした人も多く、次々と書かれ、ボードいっぱいになりました。中には「スマホ」で探す人もいましたが、スマホの操作も学習の一つであり、検索に熱中する方もおりました。

最後に、出された漢字を一つひとつ「手話表現」をみんなでやりました。半分くらいは、あいまいな表現になったかもしれませんが、みんなで考える良い機会でした。漢字を覚える事とその手話表現の勉強会は、これまでになかったことで、楽しい寺子屋でした。



社会美化活動(清掃)に参加して

去る5月23日、薄曇りの中集まったのは19名の会員。10時に始まることを、じっとしてられない会員が道具を持ち、掃除を始めると他の会員たちも次々と掃除をし始めました。

新しく清掃部長に就任した前島さんが、早くから現場に道具を持ってきました。そして、社会福祉協議会の窓口に連絡し、ゴミをまとめてどこに捨てるかを確認しました。

10時に改めて沼澤会長のあいさつのあと、前島さんが、道具の扱い方やゴミを捨てる場所を指示して清掃活動が本格的に始まりました。

早めに掃除を始めたので、10時半に終わりました。参加者は21名に増えました。



遅れて来た「とも」の伊勢谷さんが「もう終わったの?!」とびっくりしていました。応援に駆け付けてもらっただけでも嬉しいです。

準会員5名も全員参加、「老人クラブ」活動をみんなと一緒に取り組む必要性への理解を、少しでも深めていただけたかと思えます。

年間目標参加者数の3分の1弱になり、次の活動にメドがついたと思えます。みなさんお疲れ様でした。

耳の雑学



・耳は生理学上では「聴覚機能」と「平衡機能」の2つの機能を持っています。私たちろうあ者はそれらが失われて、ほとんど機能していません。言わば耳は飾りものでしかないと思われていますが本当に役に立っていないのでしょうか？眼鏡をかける時に、両耳がなかったらかけられず不便ではないかと思えます。また、マスクのひもをかける所がなかったら不便そのものですネ。案外6字の「耳」が役に立っていますね。

顔の両側に二つの出っ張りがバランスよく座っており、外見はかっこよく見えています。
・一番困るのは「耳アカ」が出てかゆくなる事。その時は、綿棒のお世話になりますが、モノの本によれば、毎日やると耳が病気になるから、週に1回程度にしたら良いとのことです。耳の中の小さな繊毛（せんもう）が外向けに生えているのでひとりでアカが出るそうです。

今まで、故滝口政満氏の彫刻ものの記録を連載しましたが、「種切れ」になりましたので、「耳」に関する雑学の連載に切り替えました。乞うご期待(?)

(N記)

第43回定例総会を振り返って

開会の冒頭に物故者に対する「黙禱」で始めました。この1年間に亡くなられた会員は7名に及び、改めて共に老人クラブで楽しく交流した思い出を偲んだことと思えます。

総会は、出席者36名に、委任状9名で高い成立率で開くことが出来ました。

会長の挨拶のあと、来賓の高齢部長、佐藤英治さんの挨拶、「超高齢化の社会状況の中、ろうあ高齢者たちが「老人寺子屋」を開き、毎回勉学にいそんでいる事に心から喜びたい。そして、高齢部も何かあったら協力し合っていきたい」と述べました。

次にいつもお世話になっている「とも」の代表・伊勢谷小枝子さんが登壇し、にこやかに「皆さんの元気なお顔に接し、「老人寺子屋」で共に学んで成長できたことを喜んでおります。私どもの「とも」は、老後の生活が明るく豊かになるお手伝いをしていきたいと思えます」と述べました。

そのあと議長の選出に入り、準会員の中村春美さんが選ばれ、総会式次第の順序通り進みました。最後の第5議案、「会則改正案」の討議には今年の臨時総会で保留されたこともあり、慎重に案を練った内容を提案しました。

今までの「賛助会員制度」を廃止し、老人クラブの会員資格から「対象外」となる、聞こえる人、市外の人、年齢が若い人たちは「準会員」とするが、老人クラブの活動には「助けてやる人」と助けてもらう人の関係でなく、会員も準会員も対等になり、お互いに老人クラブの目的を達成するために支え合います。

そういう時代に応じた体制に、理解を深めあえたと思えます。賛成多数で採択していただき、ありがとうございました。特に議長に選ばれた人の分かり易い采配で予定通りに終了し、解散しました。

➤ 総会のあと、役員欠員を補充する緊急役員会を去る5月16日に開き、以下の通りに決まりました。人事の移動も決めました。

【新役員体制】

- ・会長 沼沢 一夫（留任）
- ・副会長 （空席）
- ・総務部長 中根 伸一（留任）
- ・会計部長 高島 猛（留任）
- ・副総務 佐藤 順子（留任）
- ・企画部長 畠山 啓子（改任）
- ・清掃部長 前島 直哉（新任）
- ・女子部長 守屋 幸子（留任）
- ・健康促進部長 佐藤百合子（改任）

- ・監査 中村 良仁（新任）
- ・監査 瀬川百合子（新任）

役員外 ・ラジオ体操担当 那須美枝子
清水 優子
・渉外・通訳担当 中村 春美

現行規約には、古い役職名のままで改正されていませんが、次の総会できちんと役職名を改正案として出します。

私たちの老人クラブは、ろうあ高齢者の仲間たちの自主的な組織として、仲間づくりを通して「生きがい」と「健康」づくり、生活を豊かにする楽しい活動。そして豊かな知識を出し合って社会に役に立つ活動に取り組みながら、明るい長寿社会づくりを目指します。その為にも、「聞こえる」聞こえないのの違いを乗り越えていきます。

また、他の団体と交流をして、私たちが経験したことを積極的に受け伝えていきます。